

報告書抄録

ふりがな	びわこひがしちいきのこてい・こがんいせき							
書名	琵琶湖東地域の湖底・湖岸遺跡							
シリーズ名	琵琶湖開発事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	11							
編著者名	小竹森 直子・中川 正人・三宅 弘							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 / 財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町4丁目1番1号 / 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月日	平成26年(2014年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
長命寺湖底遺跡 (長命寺遺跡・大房遺跡含む)	近江八幡市長命寺町地先	25204	044	35度9分28秒	136度3分44秒	6,701㎡	1982・1983年度	長命寺港浚渫工事に伴う事前調査
岡山城遺跡	近江八幡市牧町	25204	068	35度8分25秒	136度2分37秒	5,812㎡	1981年度	湖岸堤および管理用道路工事に伴う事前調査
多景島遺跡	彦根市八坂町地先	25202	058	35度17分46秒	136度10分40秒	216㎡	1982年度～1984年度	栈橋改修工事に伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
長命寺湖底遺跡	散布地	縄文時代～近代		汀線・遺物包含層		縄文土器・弥生土器・丸木舟		縄文時代後期の丸木舟がほぼ完形で出土
岡山城遺跡	城跡	古墳時代 室町時代		横穴式石室 石垣・建物跡・石組み溝		須恵器 土師器・陶磁器類・鉄釘		六角氏家臣九里氏の城であり、足利将軍とも縁が深い
多景島遺跡	散布地	縄文時代～近代		遺物包含層		縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・陶磁器類・煙管・銭貨類		祭祀遺物以外に、日常雑器類が多量に出土
要約	<p>長命寺湖底遺跡では、明確な遺構は検出できなかったが、丸木舟の出土状況などから縄文時代後期頃のクランク状の地形と汀線を復元した。</p> <p>湖に面した独立丘陵上に築かれた城である岡山城遺跡では、16世紀前半期の曲輪跡・石垣の存在がはっきりとなり、土師器をはじめとした土器類のほかに、釘類や焼けた土壁なども出土した。また、築城前史としての2基の横穴式石室を確認した。</p> <p>潜水による調査を実施した多景島遺跡では、平安時代の都城系の土器類の他に、縄文時代から現在にいたるまでの多様な遺物が出土し、数千年以上にわたって人々の生活と関わりを持ち続けていたことが明らかになった。</p>							